

応募方法
 コンテストサイトの応募フォームから必要事項を記入し、「応募ください」コンテンツサイトはこちらから
<http://www.hakone-geopark.jp/information/photo-contest5.html>



- 最優秀賞 1点(賞状・副賞)
 - 優秀賞 各部門1点(賞状・副賞)
 - 特別賞 2点(賞状・副賞)
 - エリア賞 各エリア1点(賞状・副賞)
 - 佳作 30点(副賞)
- 部門
- ① 地形・地質(ジオ) 部門
 - ② 動物・植物(エコ) 部門
 - ③ 歴史・文化(ヒト) 部門
- 各賞

応募期間
 令和3年1月12日(火)まで

渾身の力作から、スマホで撮った思い出の一枚まで、あなたが撮影した「奇跡の瞬間」をお待ちしています。皆さん奮ってご応募ください！

「第5回箱根ジオパークフォトコンテスト」開催中！

「お林」と呼ばれる魚付き

火山噴火の溶岩により形成された真鶴半島は、大地が造りだす豊かな自然とその恵みを体感できる場所が多くあります。

箱根ジオパーク「真鶴半島ネイチャーウォーク」参加者募集！



主催 箱根ジオパーク推進協議会
 問い合わせ 神奈川県西地域県政総合センター商工観光課
 ☎0465-132-8908

小田原・箱根気候変動ワンチーム宣言について

昨今の豪雨、台風、猛暑などの異常気象がもたらす自然災害により、私たちの暮らしや経済にも影響がでてきます

真鶴エリアのジオサイト「魚付き林」や「三ツ石海岸」などを巡るウォーキングツアーを開催します！

0465-168-2111
 http://www.discoverblue.org/umi_Msm/umiM_202011-12.html

日時 12月13日(日)10時～13時(受付開始9時45分)

集合 真鶴町立遠藤貝類博物館(ケープ真鶴2階)

定員 25名

参加費 大人500円、小学生～高校生400円、幼児(4才以上)300円

申込 事前予約制。真鶴町立遠藤貝類博物館へ電話またはNPO法人ディスプレイバーブルのホームページ申込みフォームからお申込みください。

「小田原・箱根気候変動」の概要

気候変動は決して他人事ではなく、自分事であるという認識を持ち、考えうる防災・減災対策を着実に推進するとともに、気候変動の進行そのものを抑制するための具体的な行動を起こすことが迫られています。コロナ禍も気候変動と切り離して考えるべきではありません。

「小田原・箱根気候変動」の概要

気候変動は決して他人事ではなく、自分事であるという認識を持ち、考えうる防災・減災対策を着実に推進するとともに、気候変動の進行そのものを抑制するための具体的な行動を起こすことが迫られています。コロナ禍も気候変動と切り離して考えるべきではありません。

が、この気候変動問題について、小田原・箱根地域で一体となって取り組んでいくため、10月27日(火)「小田原・箱根気候変動ワンチーム宣言」を発表しました。小田原市と箱根町の、行政・議会・自治会、そして小田原箱根商工会議所の七団体の長が集まり、宣言書にサインをしました。

当日は、環境省の中井徳太郎事務次官からビデオメッセージが寄せられ、「地域全体で気候変動に関する宣言をすることは全国で初のこと」と期待のコメントがありました。各団体は順番に、今後の取組み・構想を発表しました。



左から鈴木会頭、小菅会長、木村会長、石川議長、奥山議長、山口町長、守屋市長

炭素、循環型経済、集中から分散へ、Fun to Share」といったキーワードで語られるべき地域の未来の姿を描くことが大切です。

小田原・箱根で暮らし働く私たちは、気候変動を正しく理解し、何ができるか、何をすべきかを真剣に考え、行動を起こしていくことをこぞつここに宣言いたします。

※気候変動ワンチーム宣言の全文は、町ホームページで公開しております。

照会先 企画課
 ☎8519560



箱根ジオパークの再認定審査が行われました！

10月14日から16日までの3日間、箱根ジオパーク再認定審査の現地調査が行われました。現地調査では、前回の認定から4年間の活動実績の報告の他、関係団体の紹介や各地域のガイドが調査員にジオサイトを案内しました。

大涌谷では、安全対策を施したうえで、現在は立入禁止となっている大涌谷自然研究路を現地ガイドなどが案内し、大涌谷の活動の歴史や避難シェルターを紹介しました。

現地調査を終え調査員からは、「箱根ジオパークは首都圏から近く、多くの観光客が訪れる場所であり国際的な知名度も高い。日本だけでなく世界中の人々にジオパークを知ってもらえる場所であり、日本ジオパークの中でも重要なジオパークである」と期待をされました。

一方で、「箱根ジオパークのジオストーリーや火山の恵みと人の暮らしのつながりを積極的に広報し、教育などに役立ててほしい」など、今後の課題も指摘されました。

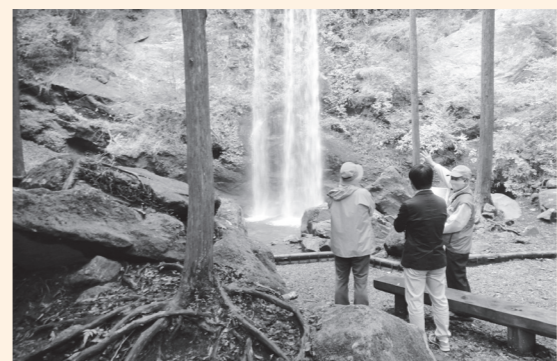
再認定審査の結果については、令和3年2月5日に発表されます。結果発表の様子については、広報3月号でお伝えします。



会長の挨拶



現地調査ジオサイト「福浦カツラゴ海岸」(湯河原町)



現地調査ジオサイト「夕日の滝」(南足柄市)



現地調査ジオサイト「三ツ石海岸」(真鶴町)